

校友会報

NO.05

2019.10発行



発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp
webサイト:http://koyu.ehime-u.jp/

<< 校友会の主な事業活動 >>

平成30年11月～令和元年9月

2018年

11月	子規俳句カレンダー2019 発行
11月	校友会報 第4号 発刊
11月10日(土)	第9回 ホームカミングデイ
12月8日(土)	近畿支部役員会

2019年

1月19日(土)	首都圏支部役員会
1月25日(金)	「地域定着促進特別奨学金」交付式
2月16日(土)	中国支部役員会
3月3日(日)	就職支援事業(大阪) 就活学生との情報交換会
3月8日(金)	就職支援事業(東京) 就活学生との情報交換会
4月6日(土)	首都圏支部役員会
4月20日(土)	近畿支部役員会
5月18日(土)	新社会人交流事業「全員集合 in 東京2019」
5月25日(土)	新社会人交流事業「全員集合 in 大阪2019」
6月8日(土)	近畿支部講演会・懇親会
6月14日(金)	校友会総務企画担当常任理事会
6月22日(土)	中国支部役員会
6月25日(火)	校友会常任理事会
7月13日(土)	首都圏支部講演会・懇親会
7月27日(土)	校友会理事会・総会・懇親会
8月9日(金)	「学生団体活動援助金」交付式
9月28日(土)	中国支部講演会・懇親会

校友会の主な事業活動	03
大学支援事業	04
学業奨励金給付事業	06
課外活動支援事業	07
全学支援事業	07
就職支援事業	08
海外留学支援事業	09
社会連携事業	10
ホームカミングデイ	11
サークル紹介	12
先輩に学ぶ	14
国内支部	18
海外支部	20
子規俳句カレンダー	21
学部同窓会よりお知らせ	22
法文学部創立50周年・ 理学部設置50周年	23
令和元年度定時総会開催	24
事業報告及び事業計画	25
校友会組織, Q&A	26
会員情報登録, 事務局だより	27

卒業式の様子 2019年3月25日(月)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学卒業式・大学院学位記授与式が開催されました。

平成31年3月25日(月)午前10時から、平成30年度愛媛大学卒業式及び大学院学位記授与式が挙行され、1,865人の学部卒業生、371人の大学院修了生に学位記が授与されました。

「ひめぎんホール」メインホールで行われた式では、大橋学長から各学部の代表者に学位記が手渡され式辞があった後、高橋校友会会長から「皆さんが大学生活で培った知識、技能のみならず、経験や人間関係というものは、間違い無く人生の糧になります。それらを礎に、これからは社会で、あるいは大学院で、グローバルな視点を持ち、自ら考え行動する人間を目指していきましょう。」と祝辞がありました。

その後、卒業生を代表して法文学部の江本 茉央さんからは、大学への感謝と今後の決意など、力強い答辞がありました。

なお、校友会では卒業生に、卒業記念品として『今治のタオル製品』を贈呈しました。

卒業生の皆様の今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。



卒業記念品



入学式の様子 2019年4月4日(木)、「愛媛県武道館」にて愛媛大学入学式が開催されました。

平成31年4月4日(木)午前10時から、平成31年度愛媛大学入学式が挙行され、1,913人の学部生及び463人の大学院生が入学しました。

「愛媛県武道館」で行われた式では、学士課程、修士課程、博士課程の入学生が紹介された後、大橋学長から「大学時代に読書をしよう！」とのエールが送られました。

神野愛媛県副知事の祝辞後、高橋校友会会長から、これから始まる大学生活が実り多く充実したものとなるよう願いを込めて「愛媛大学で勉学に励み専門性を高めるとともに、高い志と幅広い視野、多様性を理解し受け入れる広い心、そして目標を実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップを身につけてください。」との祝辞がありました。

その後、学部入学生を代表して農学部生命機能学科の井脇朝香さんが、また、大学院入学生を代表して法文学研究科人文科学専攻の吉本早希さんが、力強く入学生総代宣誓をしました。



愛媛大学校友会では学部入学生に、学修ポートフォリオファイルと、校友会会員登録記念品を進呈しました。

【大学の教育環境整備事業への支援】

平成29年度及び30年度において、校友会から大学の教育環境整備事業に対して、支援を行いました。

- 平成29年度 農学部キャンパス駐輪場整備
- 平成30年度 山越運動場外周フェンス改修、野球場バックネット補修、共通講義棟改修、農学部玄関前改修

農学部西側駐輪場設置

農学部キャンパス内の駐輪場が不足していたため、キャンパス西側の樹木を撤去し、新たな駐輪場設置工事を支援しました。



山越運動場外周フェンス・バックネット補修工事

「大阪北部地震」でブロック塀倒壊による死亡事故が発生したことから、緊急安全対策を施すため、老朽化した山越運動場外周フェンス（約1km全面）改修工事や野球場バックネットの補修工事を支援しました。

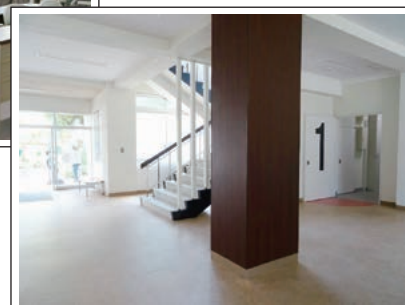


農学部正面玄関前舗装改修

農学部により良いキャンパス環境を形成するため、同学部の「顔」となる正面玄関前のインターロッキングブロック舗装工事を支援しました。



共通講義棟改修



学業奨励金給付事業 特別奨学金制度を支援しています。

平成31年1月25日(金)に校友会館「サロン」において、平成30年度「愛媛大学地域定着促進特別奨学金」交付式を、高橋校友会会長、大橋学長、弓削理事・副学長等の出席のもと行いました。

同交付式では、大橋学長の挨拶後、高橋校友会会長から、今年度の特別奨学金受給者一人ひとりに目録が手渡され、その後、受給者を代表して2名の学生から謝辞があり閉会となりました。



令和元年8月9日(金)、愛媛大学校友会館2階サロンで、学生団体活動援助金交付式を高橋校友会会長及び大橋学長出席のもと実施しました。

これは、校友会の学生支援事業の一つで、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が平成30年度における課外活動状況を上位からA～Eの5段階に評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費(総額500万円)を援助するものです。

これにより、学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍及び活性化を促し、また校友会の支援事業を理解していただくことを目的として平成19年度から実施し、今回で13回目の交付となりました。

交付式では、評価Aのサークル紹介があった後、大橋学長から「校友会には今年も、本学の課外活動団体に資金を援助していただきありがとうございました。大学としても課外活動に対しては大いに支援していくつもりです。

みなさんも活動を通じて多くの仲間と切磋琢磨し、いろいろな能力を身につけてください。また、校友会には今後ともご支援をお願いします。」との挨拶がありました。



引き続き高橋校友会会長から体育系全学サークル代表者と文化系、全学サークル代表者にそれぞれ活動援助金の目録が授与され、「A評価を受けられた団体のみなさん、おめでとうございます。みなさんが日頃からサークル活動に真摯に取り組み、日々努力を積み重ねられたことに敬意を表します。みなさんの熱意とリーダーシップを今後活かしてください。私は

1972年に入学し自動車部に入部し、その仲間とは今も交流が続いています。また、サークル仲間だけでなく地域の人たちとの交流はコミュニケーション能力の向上に繋がったと思います。」などと挨拶がありました。



引き続き行われた懇談では、各サークル団体からお礼や活動内容、援助金の使途予定、実績等の報告、また大学への要望などについて意見交換がありました。

愛媛大学の課外活動サークルの一層の活躍を期待しています。



【給付対象

評価C以上：給付団体 計50団体
(体育系30団体、文化系20団体)】

【今回のA評価の団体】

- ・体育系6団体
ダンス部、弓道部、陸上競技部
チアリーディング部、水上競技部、馬術部
- ・文化系4団体
交響楽団、書道部、ジャズクラブ(JOKERS)
アカペラオレンジ



学生の学習環境充実のために、大学の図書館(城北地区中央図書館、重信地区医学部分館、樽味地区農学部分館)へ毎年200冊以上の学生用図書を寄贈しています。

- ・平成28年度…243冊
- ・平成29年度…338冊
- ・平成30年度…333冊 ※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。

就職活動学生への（バス運行、交通費援助）支援

愛媛大学及び各学部後援会と共催で、東京・大阪で開催される合同企業説明会へ参加する在学生のため、近畿についてはバスの運行を、首都圏においては交通費の支援を行っています。

■就活学生と卒業生との情報交換会を開催

首都圏及び近畿圏の就職活動に参加した学生と同圏内に在住している卒業生との情報交換会を開催しています。

この情報交換会は、就職や職業生活等の幅広い情報を収集し、今後の就職活動に役立てる目的で実施するものです。さらにこの情報交換会を通して、本学学生と本学卒業生の交流を促進することで、校友会組織を拡充し、卒業生の協力による本学就職支援体制の強化充実を図るものです。

●平成31年3月3日(日) =大阪コース=

大阪の合同企業説明会「マイナビEXPO」(インテックス大阪)に併せて実施しました。年度末の休日にもかかわらず、近畿圏在住の卒業生27人に出席いただき、就活生46人との情報交換会を大阪梅田のブリーゼプラザで開催しました。



情報交換会の先輩からのメッセージでは3名の卒業生から、就活を始めるに当たっての心構えや面接時に気を付けることなど、先輩ならではの経験から温かい励ましの言葉がありました。卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成31年3月8日(金) =東京コース=

東京の合同企業説明会「マイナビEXPO」(東京ビッグサイト)に併せて実施しました。この就職活動支援事業は平成18年度から実施し今年で13回目になりますが、今回も首都圏在住の卒業生24人と就活生59人との情報交換会をグランパークプラザで開催しました。



情報交換会では就活生の代表が「本日は後輩のために参加いただき有り難うございました。先輩方には首都圏の色々なお話を伺い、自分に合った企業を探したい。」と力強い挨拶がありました。在学生は真剣な眼差しで先輩に質問するなど活発な意見交換が行われ、最後に参加者全員で「就活頑張ろー！」と声をあげ、お開きとなりました。

卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

令和元年度の情報交換会の開催は次のとおり計画しています。卒業生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。(都合により変更となる場合があります。)

●大阪コース 令和2年2月29日(土) 17:00～ 大阪市内を予定 後日ホームページ等でお知らせします。

●東京コース 令和2年3月7日(土) 17:00～ 「グランパークプラザ」4階(401ホール) 東京都港区芝浦3-4-1

留学する学生のために、渡航費や海外旅行傷害保険等の一部を支援しています。また、海外留学安全対策協議会（JCSOS）のJ-Basic加入料を負担しています。この海外留学支援事業により、海外留学した学生の体験記をご紹介します。



「中国留学を終えて」

教育学部 総合人間形成課程 松本 寧々

概要

■留学期間 2017年8月～2018年7月

■留学先 中央民族大学（北京）

1. 留学に至った経緯

以前から海外プログラムに参加する中で、世界中どの国でも中国人が生活しているのを目にし、中国経済の成長とグローバル社会においての中国語の需要を強く感じたため、中国語を習得したいと思った。

また、愛媛大学の協定校が比較的多くあり、単位交換に加え、奨学金制度もあることから、最終的に留学を決意するに至った。

2. 中央民族大学を選んだ理由

中国には他にもいくつか提携校があった中で、北京の中央民族大学を選んだ理由は主に二つある。

一つ目は、北京で話される言葉が比較的标准語に近いからである。中国は、世界4位という広大な国土に56以上もの民族が暮らし、その土地それぞれに全く異なる方言が存在するという少し特殊な国である。その中で、どの土地の人でも分かるいわゆる「標準語」というものが存在し、テレビなどでは一般的にこの標準語を用いた会話が放送される。私が中国語を勉強する上で目指したのは、一つの土地の言語に特化してその土地のネイティブと親密な関係になることよりも、台湾も含めた中国全土の人と意思疎通ができるようになりたいという思いが強かったため、言語がより標準語に近い北京での留学を選んだ。

二つ目は、高度経済成長期である今この時期に、首都北京での生活を体験してみたいという思いがあったからである。

私は年代的に日本の高度経済成長期を経験したことがないため、隣国がそのような状況にあるちょうど今、留学に行けるのはとてもラッキーなことだと思った。そして首都での生活を体験することで、急速な発展の様子を実際にこの目で見てみたいと思い、北京の大学に行くことを決定した。

3. 現地での生活

現地での生活は、留学生寮に入り、他国からのルームメイトと生活を共にした。総留学生数が比較的少ないため全員の関係が良好で、また、学校周辺や近場にあらゆる施設が充実していたため、休日はよく遊びに出かけた。また、日本に比べ食べ物や物の値段が安いに加え、学校の食堂は更に安く、毎日学食か近場の飲食店で食事を摂ることが多かった。ちなみに、民族大学の学食は北京でも有名らしく、計5つの食堂の中であらゆる地域・民族の料理を味わうことができた。

4. 授業について

クラスはレベル別に約9つの班に分かれており（一番上が9班）、これらは学期初めのレベル分けテストを元に決定される。私は前期5班、後期8班だった。授業内容はクラスレベルに合わせた教科書を用い、「総合」「スピーキング」「リーディング」「リスニング」「作文」がだいたい週3回3科目、週2回2科目ずつ行われ、それに加え週2回の中国人の教育者を目指す学生による補修もあったため、習った知識をアウトプットする機会もあり、言語学習においてとても充実した環境だった。授業はすべて中国語で行われた。

5. 語学レベルについて

3回生から突然思い立ち中国語の勉強を始め、3回生前期のみ1回生の初修外国語の授業を受けた。留学当初は全く聞き取れず、話せないという状況だったが、約4か月でHSK（中国語能力試験）5級を取得。

後期はコミュニケーションに重点を置き、友達との交流や交流会などのイベントに多数参加した。現在9月のHSK6級受験に向けての勉強に取り組んでいる。

6. 楽しかったこと・辛かったこと

（楽しかったこと）

今回の留学は長期だったにもかかわらず、基本的にあまりストレスを感じず、毎日がとても楽しかった。それは周りの人間に恵まれていたからだと思う。民族大学には世界各国から留学生が集まっており、その留学生たちは全体で仲が良く、週末ごとに遊びに行ったりご飯に出かけたりした。また、先生方も生徒との距離が近く、常に生徒を気遣い親身になって相談に乗ってくれた。中国人学生の友達はみなとても親切で、助けを求めると必ずこちらが望む以上のことをしてくれ、その優しさに毎回感動した。また、私が一番ありがたいと思ったことは、彼らが私たち留学生を下に見ることなく、同じ立場の人間として接してくれたことだ。これは簡単なようで意外と難しいことで、特に日本では、文化的に外国人を特別扱いしたり、どうしても壁ができてしまいがちだが、この留学中自身が留学生という立場にいて、これを感じたことはほとんどなかったように思う。このような良い環境の中で毎日過ごせたことで、これまでに経験した海外での生活に比べストレスをあまり感じることなく、私の留学生活はより楽しく有意義なものになった。

（辛かったこと）

辛かったことを強いてあげるとすれば勉強だと思う。この留学は比較的短期間のうちに決断したものだったため、留学当初語学レベルが十分でなく、全て中国語で行われる授業についていくのが難しい状況だった。そこから猛勉強をはじめ、授業の予習復習に加え、深夜まで教室に残り勉強を続けた。なぜこんなにも頑張れたのかというと、周りの中国人学生たちはそれを当たり前のようにこなしていたからだ。ここに日本の大学との差を感じ、自分も頑張らなければという気持ちになった。

7. この留学で学んだこと

この留学を経験して、語学を習得すること以外にまず人として大きく成長できたと感じている。

まず一つ目に、近くて遠い国中国という国を深く知ることができた。それ以前、日本で生活している中で中国に関心を持ったことがなく、そのイメージの大部分が日本メディアからの情報により構築されたものだった。しかし実際に現地で生活してみると、中国人の国民性や文化・習慣、良い面もそうでない面も合わせて知ることができ、自身の小さかった視野がぐっと広がった。そして、その自分で実際に体験した情報をもとに、根拠を伴って判断できるようになった。

二つ目は、度胸がついたことだ。この一年間で、日本にいればありえないような状況に何度も遭遇した。例えば、タクシーでのぼったくりや、ツアー内容が契約時と違う、ホテルの部屋が予約時と異なるなど、ありとあらゆるトラブルを経験した。しかしその都度「それはおかしい」「こちらには抗議する意思がある」ということを相手にしっかり伝えなければならないため、きちんと意思を表示することの大切さを身をもって実感した。

これらのことは、そのまま日本で暮らしているには身につかなかっただろうものだと思う。様々なことを知り、学ぶことができ、経験してよかったと心から感じている。

8. まとめ

今回の留学を通して、たくさんの人と出会い、たくさんのかげがえのないものを得ることができた。3回生時に突然中国語を始めたこと、実際に中国に住んでみたこと、積極的に活動に参加してみたことなど、これらひとつひとつが貴重な経験として今後の人生に生きてくると確信している。

「特定非営利活動法人 愛媛大学校友会人材活用センター」の活動

校友会会員（主に退職教員）で構成された「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」は、県内の各自治体や教育機関に人材を提供するとともに、広く一般市民向けに学術、文化、芸術、保健等に関する公開講座、講演会等を開催するなど、社会教育の推進と地域の活性化に貢献しています。 ホームページ <http://koyu.ehime-u.jp/koyu/npo/>

●平成30年12月～平成31年4月 公開講座を開催しました。

■「平成30年7月西日本（愛媛県中予地方）豪雨災害からの教訓」12月22日（土）開催

- ・「豪雨災害から命を守るための備えについて」

愛媛大学防災情報研究センター准教授 二神 透

- ・「自然災害事例で見られる伝わらない地域災害史」

愛媛大学大学院理工学研究科(工)准教授 森 伸一郎

■「私たちの暮らしを豊かにする材料開発」3月23日（土）開催

- ・「絶縁体、半導体、金属としての性能をもつプラスチック」

愛媛大学大学院理工学研究科(工)教授、

愛媛大学工学部プラズマ・光科学研究推進室室長 藤井 雅治

- ・「金属材料の開発とその社会への貢献」

愛媛大学名誉教授・客員教授

三浦工業(株)取締役 仲井 清眞

■「日本の近代史のあけぼの ～明治維新から150年～」4月20日（土）開催

- ・「ハインリッヒ・シュリーマンが見た幕末期の日本」

愛媛大学名誉教授 山川 廣司

愛媛大学名誉教授 森 孝明

- ・「明治期の愛媛の長者番付」

愛媛大学名誉教授 内田九州男



●平成31年2月23日 「講演会と箏の演奏会」を開催しました。

■講演会「愛媛の近代建築散歩」

愛媛大学名誉教授 曲田 清維

■箏演奏会

曲目：春の海 他

宮城道雄箏曲家、宮城道雄直門大師範 松本 安也子

横山勝也尺八家 古屋 輝夫



第9回ホームカミングデイを開催しました。

平成30年11月10日(土)に、第9回愛媛大学ホームカミングデイを開催し、卒業生、学生及び教職員あわせて約280人が参加しました。

【プログラム】

13:00～

同時開催イベント

- ・愛大ミュージアム見学
- ・植物工場
(樽味キャンパス) 見学



15:00～

式典(南加記念ホール)

司会: 合田みゆき氏(フリーアナウンサー 教育学部卒)

- ・学長挨拶・・・大橋裕一学長
- ・愛媛大学の社会連携の取組紹介・・・社会連携推進機構長 仁科弘重
- ・特別講演『紙産業イノベーションセンターの活動状況報告』
紙産業イノベーションセンター長 内村浩美
『紙産業イノベーションセンターへの期待』
大王製紙(株)生産本部 新素材研究開発室課長 大川淳也 氏

- ・チアリーディング部によるパフォーマンス
- ・スペシャルコンサート
(ダンディーズ, 附属小学校・附属中学校コーラス部)
- ・学歌斉唱

17:15～ 懇親会(大学会館1階)



ホームカミングデイは、卒業生の皆様に青春時代を過ごした愛媛松山に、また授業や研究、サークル活動に励んだ懐かしいキャンパスに帰ってもらい、恩師や後輩との交流、教職員、在校生との楽しい時間を過ごしていただくため、平成22年度から愛媛大学と校友会との共催で学生祭と同時期に実施しており、今回が9回目の開催となりました。

当日は、雲一つない秋晴れとなり、城北キャンパスには大勢の卒業生や教職員OBの皆様にご参加いただき、南加記念ホールで行われた式典は今回も超満員となり、補助席を設けるほどの盛況ぶりでした。

式典では、まず大橋学長から、開会の挨拶と大学の最近の動きについて紹介があった後、仁科社会連携推進機構長が、大学と企業との共同研究の取組み等の紹介をしました。

その後の特別講演では、愛媛大学紙産業イノベーションセンター長の内村教授及び大王製紙(株)生産本部新素材研究開発室 大川課長が、紙産業イノベーションセンターの活動報告や同センターへの期待についてご講演されました。

また、チアリーディング部は、軽快なゲームの音楽に合わせて、天井にも届きそうなアクロバティックパフォーマンスを披露し、拍手を集めていました。

その後、大橋学長や高橋校友会会長も所属する「ダンディーズ」や、附属小学校・附属中学校コーラス部も参加しての合唱、そして最後に参加者全員による学歌の斉唱で閉会しました。

大学会館で行われた懇親会では、高橋校友会会長による挨拶の後、仁科社会連携推進機構長の乾杯により開会しました。コーラス部の合唱後、毎年恒例の「愛大オリジナルグッズ」争奪じゃんけん大会が開催され、大いに賑わいました。また、応援団とそのOB、吹奏楽団による応援歌などの演舞がありました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



愛媛大学 開学70周年 及び 第10回ホームカミングデイ合同記念式典・合同祝賀会

令和元年11月11日(月) 場所: ANAクラウンプラザホテル松山

〈合同記念式典〉 会場: 南館4Fエメラルドルーム

15:00～

※記念式典は招待制です。

- ・学長式辞
- ・来賓祝辞
- ・特別講演 夏井いつき氏
- ・スペシャルコンサート
附属小・中学校コーラス部
ダンディーズ
- ・チアリーディング部パフォーマンス

〈合同祝賀会〉 会場: 本館4Fダイヤモンドボールルーム

18:00～

※要事前申込・会費制(参加費5,000円)

- ・学長挨拶
- ・来賓挨拶
- ・鏡開き
- ・乾杯
- ・応援団パフォーマンス

開催の様子は次号で報告いたします。



バレーボール部

(2019年7月現在)



部長 福田 隆 (教育学部教授)

代表 香川 拓海

1

現在の部員数

男子：23名 女子：12名

2

活動場所

第2・第3体育館

3

活動時間

平日 19:00～21:00

休日・長期休暇 9:00～13:00

4

最近の活動内容、実績

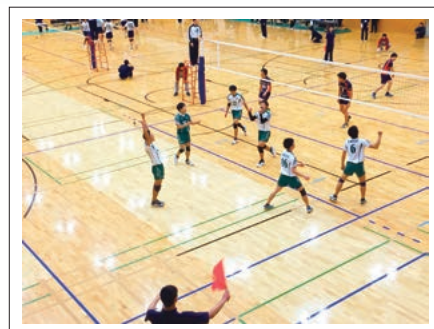
男子：2018年度四国秋季リーグ 優勝

2019年度四国インカレ 準優勝

女子：2018年度四国秋季リーグ 優勝

2019年度西日本インカレ ベスト32

また、小学生を対象としたバレーボール教室の運営や指導



5

ホームページ・SNS

Twitter @Ehimeuniv_VBC

6

アピールポイント

愛媛大学バレーボール部は過去四国インカレ11連覇を達成したり、プロバレーボール選手を輩出したりするなどとも歴史のあるクラブです。私たちは、全国大会出場を目標に日々意識を高く持って練習に取り組んでいます。練習は週5日行っており、日本代表のアナリストとして活躍

された福田隆先生や偉大なOBの方々に指導をしてもらっているため、質の高い練習ができています。

私がバレーボールを始めたのは、大学からでした。その時のバレー部は、全国大会経験者が多くいて初心者のが気軽に始められる雰囲気ではありませんでした。しかし先輩方は私を快く受け入れてくれて、とても丁寧に教えてくれました。このように愛媛大学バレーボール部には後輩想いでよくしてくれる先輩、しのぎを削りあいともに切磋琢磨できるたくさんの仲間がいます。

私たちはこのような仲間を支えられ、楽しくバレーをすることができています。

今後は秋季リーグ連覇そして全国大会出場を目標に精一杯練習を頑張りたいと思います。今後とも愛媛大学バレーボール部へのご支援、ご声援をよろしくお願いします。

(代表：香川 拓海)



書道部

(2019年7月現在)



顧問 田中 寿郎
(理工学研究科(工)教授)

代表 小笠原 康太

- 1 現在の部員数
男子：5名 女子：11名
- 2 活動場所
課外活動第2共用施設（共用室3）
- 3 活動時間
月木金 18：00～20：00

4 最近の活動内容、実績

新入生歓迎展示会，展覧会出品のための作品制作です。部員全員何らかの入賞をしており，その中でも学年優勝杯という素晴らしい成績を残した部員がいます。



5 ホームページ・SNS
Twitter @Ehime_shodo_Bot

6 アピールポイント

愛媛大学書道部は，書道の創造的な活動を通して書を楽しむ心情と書の伝統と文化を尊重する態度を身に付けることを目標に，部員個人が自分なりの書道に日々努めています。練習は，部員がそれぞれ自分の好きな書を探し，展覧会に向けた作品制作をすることが主な内容となります。

月に2日外部から先生が来てくださり，一人一人に合ったアドバイスをいただけるため確実に書道のスキルを上げることができます。

また，作品制作だけでなく学生祭や新入生歓迎の展示会を開催しており，書道の魅力の発信も積極的に行っています。私が書道部に入ってよかったことは，先輩から後輩まで全員の仲が良かったことです。書道部は他の部と比べると少ない人数ではありますが，その分部員同士の関係性が強く，先輩だから話がしにくいということはありませんでした。また，打ち上げでは顧問や外部の先生が参加することもあり，練習の時とは違った話ができるので先生たちとも仲良くなれます。このような先輩や後輩，先生との関係は他の部とは違った書道部の魅力の一つであると思います。

夏休みには松山大学や香川大学さんとの合同合宿を計画しており，スキルの向上や他大学の人との親交を深める活動を行う予定です。このように今後の書道部の活動としては，他大学との交流を積極的に行うことを一つのテーマとしていきます。

今後とも書道部をよろしくお願いいたします。

(代表：小笠原 康太)

本学卒業（修了）後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと大学のこと（先輩学）をインタビューしています。

(株)モバイルコム 平松 枝里子さん

(2015年3月 農学部生物資源学科 卒業)

〈取材時：(株)モバイルコム〉

(平成30年3月取材)

現在どのような仕事を担当していますか。

モバイルコムが運営しているドコモショップのカウンターにて、手続き業務をしています。一般のお客様向けに携帯電話やスマートフォンなどの機種変更やプラン変更、アプリケーションの説明などを行っています。最近では携帯電話だけでなく、インターネットやタブレットのご案内もさせていただいています。



仕事をしていて楽しいことを教えてください。

ドコモショップには、様々な年齢層・目的を持ったお客様がご来店されます。それぞれのお客様とお話をして仲良くなることで、お客様のライフスタイルに応じた商品やサービスを提案・提供できます。仲良くなったお客様が「平松

さんに対応をお願いしてもらいたくって…」と再び来店して下さる時がとても嬉しく、やりがいを感じます。一方で、幅広い年代の方に接客をするので、人によって伝え方を変えることに苦労します。例え話をしたり、話し方を変えたりと、これまでの経験をもとに毎回試行錯誤しながら接客をしています。

職場のPRをお願いします。

お客様目線に立つての接客をしっかりとできることが、この職場の良いところだと思います。今は携帯電話やスマートフォンをインターネットや電気屋さんでも買うことができますよね。そういう場所ではご案内できないものをドコモショップでは紹介することができます。ドコモショップだからこそ、対面だからこそできる、お客様の気持ちになっての対応を大切にしています。

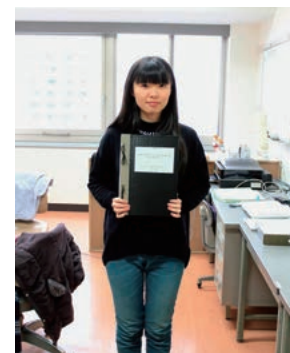
休日の過ごし方について、聞かせてください。

シフト制なので、月に土日の休

みと平日の休みがあります。休みの日は趣味の映画鑑賞に時間を費やしています。同じ日が休みの同僚と一緒に映画を見に行くこともあります。街へ買い物に行っても、平日の方が人が少なく空いているのは、メリットの1つですね。

現在の仕事を選んだ理由、きっかけはなんですか。

農学部だったので、食品関係の企業も探していました。モバイルコムが農学関係の企業か迷ったのですが、最終的には、よりお客様の役に立てる仕事ができそうなモバイルコムを選択しました。あとは、モバイルコムが地域に根差した会社だったのも大きいです。私にとっては県外へ転勤のない職場というのも魅力的でした。



学生時の平松さん



ドコモショップの
カウンター業務を担当。
お客様との会話が第一の職場で
それぞれの方に応じた
接客をしています。

学生時代に経験してきて役に立ったことはありますか。

初対面の人に話しかける経験を積んだことが役に立っています。1回生の頃は、すごくあがり症で初対面の人と話すのが苦手だったんです。でも、アルバイトをきっかけに苦手意識がなくなっていきました。他にも研究室のアンケート調査で、幅広い年齢層の方と話す経験をしました。4年間のこういった経験を通して、初対面の人でも積極的に話しかけ、コミュニケーションが取れる力を身につけることができました。



学生時の平松さん

愛大生にメッセージをお願いします。

大学生の時は一番時間がある時だと思います。気になること、やってみたいことは積極的に沢山

挑戦してみてください。きっと今後、役に立っていくと思います。就職活動に関しては、沢山の合同説明会や会社ごとの説明会に行ってみてください。気になる所はもちろん、興味のないところも聞いてみると良いと思います。思いもしなかった魅力的な企業が見つかるかも知れません。臆せずに、色々を見て回っていただきたいですね。

インタビューを終えて (学生インタビュアーの感想)

【井町】

平松さんは、昔から初対面の人とコミュニケーションをとるのが得意だったわけではありません。大学時代の継続した接客経験が今の平松さんの強みを作っているということが分かりました。多くのことに挑戦することができる一方で、何かを継続して行うこともできる大学時代。自分なりの方法で、自分自身が成長する機会を得ることが大切だと思いました。

【福井】

平松さんのインタビューは学生

時代、あがり症だったということを感じさせないものでした。学生時代の経験が今の仕事につながり、働き始めて、より相手の気持ちになって対面で人と話をする力が高まっていったのだろうと想像しました。これまでのインタビューでも感じたことですが、どんな経験も自分で意味を持たせることが重要で、直接関わる経験でなくても、捉え方ひとつで過去の経験を今に活かせることは多々あるのだと再認識しました。

【深井】

平松さんは、人当たりの良い、笑顔の素敵な方でした。そのキャリアは、農学部からドコモショップの窓口担当へというもの。両者は一見繋がりがなさそうなのですが、その実、バイトやアンケート調査によって培われた対人スキルを活かす就職だったようです。生き生きとした話しぶりを見て、自分の好きなこと・得意なことを仕事にしたいと強く思いました。残りの大学生活、様々なことに少しずつ手を出してみても、その中から自分が楽しいと思えることを見つけたいと思います。

東温市役所 池川 綾子さん (2014年3月 法文学部総合政策学科 卒業)

〈取材時：総務部総務課 広報広聴・男女共同参画係〉

梅崎 孝之さん (2014年3月 工学部機械工学科 卒業)

〈取材時：産業建設部建設課 用地管理係〉

木村 滉樹さん (2018年3月 法文学部総合政策学科 卒業)

〈取材時：総務部財政課 管財係〉

(平成30年9月取材)

現在どのような仕事を担当していますか。

〈池川さん〉「広報とうおん」を月に1回発行するため、取材をしたり、各課から原稿を集めて編集などをします。市のホームページ管理もしています。男女共同参画係でもあるので、市民の皆さんに向けた講演会や市役所内で女性の活躍を推進するため、研修の企画もしています。

〈梅崎さん〉建設課の用地管理係で働いています。市が管理している道路や水路の維持管理が主な仕事です。その中でも、工事の許可やそれに伴う交通制限の通知を出す仕事をしています。他にも市民の皆さんの道路に関する要望の対応をすることもあります。

〈木村さん〉財政課で管財係を担当しています。特に市庁舎の財産を管理しています。具体的にはコピー用紙など各課で必要な物品の注文や、市庁舎の補修・修繕などを担当しています。仕事の振り幅が大きいので最初は覚えるのが大変でしたが、最近は慣れてきました。



〈池川さん〉

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

〈池川さん〉中学生の時に、新しい重信町役場（現在の東温市役所）が建ったのですが田んぼの中で光り輝く庁舎を

見て、「カッコいいな、ここで働こう」と決めて「市役所で働く」と友達や先生に宣言をしていました。大学では行政法のゼミに所属し、行革甲子園などのイベントへ連れて行ってもらったこともあります。一番力を入れたのは香川県豊島の産業廃棄物を巡る問題の研究です。行政と住民、企業などの様々な人の声を聞く中で、住民の皆さんの声に真摯に向き合える行政の仕事にさらに魅力を感じました。

〈梅崎さん〉僕は工学部機械工学科出身で、技術職で市の職員になる人が多いのですが、事務職側で入る人は少ないです。大学1、2年の時は何も将来のことを決めておらず、このままいくと工学系エンジニアの道に進むなどという感じてました。ただ、自分が飽きっぽい性格だと自覚していたので、エンジニアになる自分にじっくりこないところがありました。それで、仕事が多岐に渡り、やりがいを感じるこの仕事を選びました。

仕事をしていて楽しいこと・難しいことを教えてください。

〈梅崎さん〉一つ一つがケースバイケースで、現場を見てみないとどういった対応をすれば良いのかが分からない。一つ一つを頭で考えなければならないところにやりがいを感じます。今回の大雨（平成30年7月豪雨）でも土砂崩れが起り、被害が出ました。急いで対応しなければならぬので、大変ではありますが、やりがいはあります。

〈木村さん〉市庁舎内の文具、水、電気など、気に掛けることが多いので大変です。電話で突発的に修理や注文を依頼されることもあるので、普段から緊張感があります。逆に対応がきっちりできて、市民の皆さんに庁舎が利用

しやすいと言っていたり、職員からお礼を言われたりすると「役に立っているな」と実感できます。目立つ仕事ではないですがやりがいを感じます。



〈梅崎さん〉

東温市役所のPRをお願いします。

〈池川さん〉東温市は県内では人口規模が小さい市です。その分、職員数もそこまで多くないので近い距離で上司と接することができます。同期が十数人なので、近い年代の人たちと課の垣根を超えて仲良くでき、若い職員は特に仲が良いです。所属部署がワークライフバランスを推しているため、水曜日にノー残業デーがあるなど、休みがとりやすい職場でもあります。去年は友人と屋久島へ行きました。今年は市役所の仲の良い人たちと富士山へ行くことを計画しています。

〈梅崎さん〉建設課の中で年齢的には一番下なのですが、優しく指導してくださる上司が多く居心地が良いです。今年度から建設課に異動となり、仕事内容がガラッと変わりました。役所の仕事は定期的に部署が変わるので色々な経験ができ、飽きないのでいつも新鮮な気持ちで仕事に取り組みます。

〈木村さん〉市役所と聞くと、お堅いイメージ、職員が気難しくてマジメな人ばかりと思われるかも知れません。



日々、東温市が
より輝く街になるように
汗を流しています。

※字数の関係上、一部省略させていただきました。
全文はホームページをご覧ください。

でも実際はそんなことはなく、話しかけてみると、気さくな方が多いので、仕事の悩みがあってもすぐに相談できます。仕事終わりに上司の方と遊んだり、食事に行ったりすることもしばしばあります。また、東温市役所にはメンター制度というのがあり、これは入庁3年以内の職員に先輩職員がついて、ケアをする制度です。職場のこと、それ以外のことを話せる先輩職員が新採の職員に付けてくれます。先輩に仕事の悩みから雑談までなんでも話すことができる機会があるので働きやすいです。



〈木村さん〉

就職活動にあたり、どのような準備をされましたか。

〈池川さん〉私は東温市の職員になることに全く迷いがなかったので、東温市一本で勉強していました。大学に入った時から公務員講座をとろうと決めていたので、1回生の時に公務員講座にかかる料金を調べて、バイトをしてお金を貯めていました。また、早い段階から、学部の先輩や公務員講座のサポーターの先輩から、授業のとり方や勉強の仕方へのアドバイスをもらうようにしていました。落ちてても、再受験して受かるまで受けようと思っていたので、思い詰めることもなく準備をして

いました。民間就職の友人達がどんどん決まっていって、ハメを外す時期に遊べないのは悲しかったですけど。

〈木村さん〉市役所に限らず就職活動は情報戦だな、と感じました。とにかく情報を集めようと3、4回生のときは市のSNSやホームページを毎日チェックしたり、市の庁舎にも来てみました。イベントに参加したり、時間があるときは議会の傍聴に行ったりもしました。そこで得た知識は今も活かしているので、積極的に動くことをおすすめします。

学生時代にやってきたことで役に立っていることはありますか。

〈池川さん〉アルバイトに熱心に取り組んでいました。塾でのアルバイトだったのですが、教えるだけでなく、担当の生徒が合格できるようなプランを立てて管理をするということもしていました。そのバイトが今も役に立っていると思っています。バイト先が結構厳しく、電話を1コール以内でとるように言われたり、保護者からの苦情を最初に聞いていたりもしました。一番役に立っているのは電話対応で、入庁してすぐから電話をとることにためらいがありませんでした。1コール以内でとる、ハキハキ話すなどを学生時代のバイトで身につけることができました。

〈梅崎さん〉大学中は陸上部の活動に熱心に取り組んでいました。体育会系の部活でしたので、大変な練習も沢山あってメンタル面は鍛えられました。公務員試験を目指すようになった3回生以降はあまり行けなかったのですが、1、2回生の頃は毎日のように練習していました。

〈木村さん〉アルバイトで、香川県内で

あったイベントの東温市ブースで市のPRに行ったことがあります。他にも東温市と付くものにはなんでも参加していました。そういうこともあって、市役所内で名前が売れたみたいで(笑)、入ってから声をかけてもらえるので、困ったことがあっても相談しやすいです。

愛大生へメッセージをお願いします。

〈池川さん〉多少無理をしても学生時は元気なので、できることを沢山やってみてもらえたらと思います。そしてやる気ある、将来の東温市を担う方が入ってくると嬉しいです。

〈梅崎さん〉大学時代は時間が沢山あると思います。色々なことを経験して、失敗も沢山していいと思います。私みたいに軌道修正も間に合いますので。色々考えてみて、そして一番は楽しんでください。

〈木村さん〉ついこの間まで学生だった身として、二つメッセージがあります。一つ目はとにかくチャレンジすることです。留学や企業、イベントの企画、何でもできます。失敗しても構わないのでどんどん挑戦してみてください。その失敗から得た経験が就職してから活かせるし、働いてみて思うのは失敗慣れている人はミスしてからのリカバーが早いです。

二つ目は、あまりプレッシャーを感じず、追い込み過ぎないように、適度に息抜きをしながら就職活動を進めていただきたいこと。就職活動中はプレッシャーと疲労で体調を崩してしまい計画通りに進まないことが多かったです。無理せずに頑張ることが就職活動を成功させる秘訣だと思います。

首都圏支部だより

〈首都圏支部事務局〉（愛媛大学サテライトオフィス東京）
東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター6F 613号
※職員は常駐しておりません。連絡は校友会事務局本部へお願いします。

平成31年3月8日(金)

就活ツアー（東京コース）参加学生との情報交換会を開催しました。

▶詳細につきましては8ページをご覧ください。

令和元年5月18日(土)

愛媛大学校友会新社会人交流事業「全員集合2019 in 東京」を開催しました。

今春、愛媛大学を卒業し首都圏内で働き始めた新社会人の皆さんを、校友会首都圏支部の役員やOB、OGが歓迎・応援し、ひいては本学卒業生同士の連携と親交を深めることを目的に毎年度開催しています。

今年は、5月18日(土)の17時30分から東京田町の「アリスアクアガーデン田町」(田町センタービルピアタ3F)において、新社会人5人を含む総勢20名が参加し、首都圏支部役員の大村さんや庵下さんを幹事役に盛大に開催されました。久しぶりに同級生や先輩と再会し終始和やかな雰囲気のもと、恒例の「愛媛県の特産物争奪じゃんけん大会」などで大いに盛り上がりました。



令和元年7月13日(土)

令和元年度 首都圏支部講演会を開催しました。

令和元年7月13日(土)13時から東京都千代田区の手町サンケイプラザ4階ホールにおいて講演会・懇親会を開催しました。

講演会は、石川首都圏支部幹事の司会進行により、清水支部長の開会挨拶後、村上 研二愛媛大学名誉教授・前放送大学愛媛学習センター長による「今AIが面白い!」と題して行われ、首都圏に在住する会員など93人が出席しました。人工知能(AI)ブームで注目されている人間の脳の仕組みを真似たニューラルネットワークを用いる深層学習の概要、国が進めるSociety 5.0などAIの現状、AIの能力が人類を超えるとされる技術的特異点などAIの将来について、最近の事例を交えて紹介がありました。

続く懇親会は、校友会首都圏支部、校友会本部、東京章光会やユウカリ会東京支部との合同開催となりました。各学部同窓会の支部長の紹介、吉田法文学部長、山内農学部長など来賓の紹介後、野倉校友会常任理事会議長の開会挨拶・乾杯により開宴しました。

法文学部卒業生が所属する「葛飾フィルハーモニー管弦楽団」による"花"をテーマとした演奏、愛媛県東京事務所・松山市東京事務所のPR、愛媛県の物産、愛媛大学や校友会のオリジナルグッズが当たる福引抽選会、学歌斉唱、記念撮影など、盛り沢山の内容で学部や年代を超えて賑やかに懇談しました。

阿部副支部長の閉会挨拶後、来年の校友会首都圏支部総会での再会を約束して散会となりました。



近畿支部だより

愛媛大学校友会近畿支部は校友会本部事務局が担当しております。
入会手続きや、活動等についてのお問い合わせは校友会事務局まで。

平成31年3月3日(日)

就活ツアー（大阪コース）参加学生との情報交換会を開催しました。

▶詳細につきましては8ページをご覧ください。

令和元年5月25日(土)

愛媛大学校友会新社会人交流事業「全員集合2019 in 大阪」を開催しました。

今春、愛媛大学を卒業し近畿圏内で働き始めた新社会人の皆さんを、校友会近畿支部の役員や卒業生が歓迎・応援し、ひいては本学卒業生同士の連携と親交を深めることを目的に開催しています。

今年は、5月25日(土)の17時から梅田の「香港海鮮飲茶樓」（ブリーゼブリーゼ6F）において、新社会人を含む総勢8名が参加し、近畿支部役員の音瀬さんを幹事役に盛大に開催されました。久しぶりに同級生や先輩と再会し終始和やかな雰囲気のもと、恒例の「愛媛県の特産物」を贈呈したり盛り上がりました。



令和元年6月8日(土)

令和元年度 近畿支部講演会を開催しました。

令和元年6月8日(土)15時から、大阪市北区の「ブリーゼプラザ8F 805号室」において講演会を開催しました。同会では、楠近畿支部幹事の司会進行により、胡^{スベツヒカル}光愛媛大学法文学部教授・四国遍路・世界の巡礼研究センター長による「四国遍路と世界遺産」と題した講演があり、後藤近畿支部長をはじめ、近畿圏に在住する会員など35人が出席しました。

愛媛大学では、四国遍路を世界遺産にという動きが加速している中、学術面から世界遺産活動を支援することを目的に、全国で唯一の巡礼研究センターを4月に設置しました。その初代センター長である胡教授から「世界遺産と日本の文化財保護法」、四国遍路の特色である「周回型巡礼と大師信仰」の説明とともに、四国に癒しを求めるお遍路さんやお接待の四国文化、四国の魅力についても紹介がありました。

世界遺産登録の第一歩、日本の暫定一覧表記載文化遺産（暫定リスト）入りを願って、出席者は熱心に耳を傾け、活発な質疑応答がありました。



講演会終了後に会場を移動して、音瀬近畿支部幹事の司会により懇親会を開催しました。今回は、医学部や若手卒業生の参加者もあり、テーブルごとに和やかに懇談しました。

中国支部だより

愛媛大学校友会中国支部事務局

事務局長 品川 瑞 eh@asagao-avenue.com

〒733-0842 広島市西区井口1丁目3番54号 かなやまビル1階
あさがお司法書士事務所内

令和元年6月22日(土)

令和元年度 第1回中国支部役員会を開催しました。

令和元年6月22日(土)の13時30分から、広島市南区のワークピア広島「紅葉」において役員会を開催しました。

同会では、本年度の中国支部講演会・懇親会を9月28日(土)の15時から「TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前」で開催することを審議・決定しました。また、次年度に新社会人交流事業を開催すること及び2年に1回開催予定の同支部総会・講演会・懇親会を令和2年11月21日(土)の午後に岡山市内で開催することを決定しました。

令和元年9月28日(土)

令和元年度 中国支部講演会を開催しました。

※次号でご報告いたします。

場所：TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前

15：00～ 講演会「四国遍路と世界遺産」

講師：愛媛大学法文学部教授、四国遍路・世界の巡礼研究センター長 胡 光

海外支部だより

インドネシア支部

マレーシア支部 合同支部会開催

校友会海外支部のインドネシア支部とマレーシア支部では、相互に両国を訪問し合い合同支部会を開催しています。2019年はインドネシアのジャカルタにおいて、4月18日～20日に両支部会員など12人が集まり開催されました。



インドネシア支部 事務局長 Sigitさん来学

2019年6月15日にインドネシア支部のSigit事務局長が来学され、本学のインドネシア留学生のイベントに参加するなど、同国留学生等との交流を深めました。

イベントに出席した留学生は、初対面の先輩Sigitさんと自国の話をしたり、卒業後のアドバイスをいただくなど、とても有意義な時間を過ごしました。

海外支部の設置状況

	支部	設立年月	支部長
1	ベトナム支部	2006年 9月	Le Thi-Hai Le 〈リハイレ〉
2	中国支部	2006年11月	蔡英春 CAI, Yingchun 〈サイエイシュン〉 東北林業大学
3	ネパール支部	2007年 4月	Yogesh Hari Shrestha 〈ヨゲシュ〉
4	マレーシア支部	2007年11月	Iswadi Bin Jauhari 〈イスワディ〉
5	インドネシア支部	2013年12月	Herry Suhardiyanto 〈ヘリー〉 ポゴール農業大学
6	バングラデシュ支部	2014年12月	Nur Ahamed Khondaker



校友会では、愛媛大学長が選句された郷土松山が誇る俳人正岡子規の俳句と大学職員が撮影した愛媛県内の四季折々の写真を載せた、『子規俳句カレンダー』を毎年作成しています。

今年は従来よりも一回り大きくし、表面は写真とスケジュールを、裏面はハガキ様式に改訂しました。俳句の英訳も記載していますので、このカレンダーを通して国内外の皆様と愛媛大学校友会や子規との出会いの機会になれば幸いです。

■子規俳句カレンダー 2020

1月 若水になりてこぼるゝ笕かな



松山城二之丸史跡庭園

2月 栴檀のほろ／＼／落る二月哉



栴檀とアカハラ

3月 ふつ／＼と彼岸桜の蕾哉



彼岸桜（教育学部本館横）

4月 たんぽゝをちらしに青む春野哉



蒲公英（四国カルスト高原）

5月 うつむいて何を思案の百合の花



笹百合（久万高原町）

6月 苔の上にこぼれて赤しゆすらの実



山桜桃梅

7月 涼しさや葉から葉へ散る蓮の露



古代蓮（松山市考古館）

8月 城山の北にとろく花火かな



松山城と花火

9月 駄菓子売る茶店の門の柿青し



青柿（一草庵）

10月 馬の脊かふるや櫓の紅葉散る



櫓紅葉

11月 冬待ちつやゝ黄ばむ庭の蜜柑哉



愛媛大学柑橘産業イノベーションセンター

12月 梅活けて君待つ庵の大三十日



梅（松山城 堀端）

【会員限定プレゼント】

■子規俳句カレンダー 2020

愛媛大学校友会〔2020年版子規俳句カレンダー〕を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月初めに校友会ホームページにてご案内いたします。先着200人（予定）としておりますのでお早めにご応募ください。



法文学部同窓会だより

会員数：23,103名（2019年4月現在）

支部：東京章光会（関東）、関西にきたつ会（関西）、広島支部、四国支部

主な活動：総会・理事会、会報発行（年1回）、会員名簿発行・管理、同窓会提供講座
学部学生支援 など

沿革：1959 文理学部同窓会創立

1979 法文学部同窓会に改組

法文学部同窓会の正式名称は「愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会」で、文理学部時代を合わせて2019年に創立60周年記念を迎えました。

記念事業として、同窓会名簿の発行（17年振り）、トートバッグ・エコバッグの作成、記念クリアファイルの作成、支部総会にANA国際線の機内酒に採用された蔵元の吟醸酒（梅錦、石鎚）の進呈などを行いました。



（法文学部同窓会事務局）

〒790-8577 松山市文京町3番 法文学部内

TEL.089-917-6376

HP: <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/>

E-mail: support@ehime-u-houbun-dousoukai.com

教育学部同窓会だより

愛媛大学教育学部

同窓会



教育学部同窓会では、教育学部に関する行事や情報、また県内外の会員から送られてくる情報等を紹介した同窓会報を7月と2月の年2回発行し、約8,000人あまりの会員・準会員にお届けしております。

しかし、近年「転居先不明」「宛名不明」等で返ってくる会報が増えております。教育学部の卒業生の方で「最近校友会の会報が届くが、教育学部の会報が届かない」「住所が変わったことを連絡していない」あるいは、この記事を読んで「教育学部の会報は見たことがない。ぜひ読んでみたい」と思われる方は、下記までご連絡ください。

さらに、教育学部同窓会では隔年ごとに、全同窓会会員を対象とした「教育学部同窓会懇親会」を開催し、多くの会員が恩師や仲間と旧交を温めています。会員の皆さん！ぜひ懇親会にご参加ください。詳細は令和2年2月発行の同窓会会報（129号）と一緒にお届けするチラシでお知らせいたします。

特に、平成20年以降の会員の皆さん！この機会に各期の同窓会を兼ねて参加してみませんか？お待ちしております。

第17回教育学部同窓会懇親会

期日：令和2年8月22日(土)

時間：12:00～15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル松山

（元の全日空ホテルです。）

（教育学部同窓会事務局）

〒790-8577 松山市文京町3番 教育学部事務課内

TEL.089-927-9383（月・水・金の午前中）

E-mail: dosokai@ed.ehime-u.ac.jp

工学部同窓会（工業会）だより

工業会は、昭和14年に新居浜高等工業学校としてスタートして今年で80年の歴史をもつ愛媛大学工学部の同窓会です。会員は2万4千人を超え、国内外で活躍されています。

全国に、東京、東海、近畿、岡山、広島、高松、高知、愛媛の8つの支部があり、毎年各地で支部総会が開催されています。

学内にある本部事務局では、名簿の管理や会員へのお知らせ、同級会開催のお手伝いなどを行っており、愛媛大学基金への支援や先生や学生の方々の海外研修や講演会、学生活動、卒業記念パーティへの補助金支給、またゴルフやテニスなどの交流スポーツ大会の開催をしています。

令和元年5月19日に開催された愛媛大学工学部創立80周年総会は、田中寿郎副学長、高橋寛工学部長ほか多数のご来賓、歴代の工学部長の方々にご臨席を賜り、総勢85名で盛大に開催されました。右は、その総会と、引き続き開催した祝賀会のスナップ写真です。

また、総会前日には記念ゴルフ大会、テニス大会が開かれました。

今年度から新会長に柿木 一高氏（電気S47）が就任し新体制となりました。



工業会公式サイト
QRコード

（愛媛大学工業会事務局）

〒790-8577 松山市文京町3番 工学部内

TEL.089-927-9702

HP: <http://www.eu-kogyokai.jp/>

E-mail: kogyokai@ee.ehime-u.ac.jp

【法文学部創立50周年記念式典及び祝賀会】

平成30年4月に法文学部が創立50周年を迎えたことを記念し、平成30年11月11日（日）、ANAクラウンプラザホテル松山（南館）にて、愛媛大学法文学部創立50周年記念式典及び記念祝賀会を開催しました。

記念式典は、吉田正広法文学部長の挨拶に始まり、大橋裕一愛媛大学長の式辞、続いて中村時広愛媛県知事（代理出席、神野一仁愛媛県副知事）、野志克仁松山市長（代理出席、梅岡伸一郎松山市副市長）、小池昭彦法文学部同窓会長、太田洋一郎法文学部後援会長よりご祝辞をいただきました。

引き続き、記念講演として、1974年（昭和49）年愛媛大学法文学部法学科経済学専攻ご卒業の岡本英男東京経済大学長より、「私と大学－松山・仙台・東京－」というテーマでご講演いただきました。若い時期に、愛媛大学をはじめ東北大学、東北学院大学、コーネル大学など、地方の大学でゆったりとした学生生活を送ったことが後々の研究者人生に大きな影響を与えたことなど、ご自身の体験に基づき、日本の大学（特に愛媛大学）の持つ魅力・可能性についてお話いただきました。

記念式典の後に開催した記念祝賀会では、創立50周年を記念して作成した法文学部マスコットキャラクター「ぶんぼー」の紹介、男性コーラスグループ「ダンディーズ」による合唱、創立50周年記念事業をサポートする学生有志「学生アンバサダー」の紹介などがあり、和気あいあいとした会となりました。

記念式典・記念祝賀会ともに、来賓・同窓生・教職員（元職・現職）の出席者総数が150人を超える盛大な行事となりました。



〈岡本英男東京経済大学学長による講演〉



〈法文学部マスコットキャラクター「ぶんぼー」〉



〈男性コーラスグループ「ダンディーズ」による演奏〉

【理学部設置50周年記念式典及び祝賀会】

平成30年4月に理学部が設置50周年を迎えたことを記念し、平成30年11月11日（日）国際ホテル松山で、愛媛大学理学部設置50周年記念式典、記念講演会及び祝賀会を開催しました。

理学部は昭和24年に発足した新制愛媛大学文理学部を前身に、昭和43年の文理学部の改組に伴って4学科体制で設立されてから、本年で50年を迎えます。

式典には神野一仁愛媛県副知事、梅岡伸一郎松山市副市長、柳澤康信前愛媛大学長、高橋祐二愛媛大学校友会会長をはじめ、愛媛大学ステークホルダーの皆様、理学同窓会の皆様、退職教職員等約130人の皆様にご出席いただきました。平野幹理学部長の式辞の後、大橋裕一学長からの挨拶、神野副知事代読による中村時広愛媛県知事からの祝辞及び梅岡副市長代読による野志克仁松山市長の祝辞を賜り、厳かな雰囲気の中で挙行されました。

記念講演会では、入船徹男地球深部ダイナミクス研究センター長が「地球深部科学から超高圧材料科学へ」～愛媛で生まれた世界最硬ヒメダイヤとその応用～と題して講演を行い、歴史を振り返りつつ現在まで積み上げてきた世界レベルの研究の進展をユーモアも交えながら語られました。

記念祝賀会では、理学部卒業生等による琴、尺八、ピアノのアンサンブルや理学部の歴史を綴るスライドの上映などの催しも行われ、理学部設置50周年を祝うに相応しい盛大な会となりました。



〈入船センター長による記念講演〉



〈鏡開きの様子〉



〈琴、尺八、ピアノのアンサンブル〉

令和元年7月27日(土)、愛媛大学校友会定時総会を開催しました。

令和元年度の校友会定時総会を7月27日(土)の15時30分から「愛媛大学共通講義棟A11講義室」で開催しました。同総会には、ご多忙の中、高橋会長をはじめ、森本相談役、武田、野村両副会長、弓削理事・副学長や卒業生等79名の会員の皆様にご出席いただきました。

同会では、校友会会則の一部改正や、事業・決算報告、今年度の事業計画・予算案、役員を選出などについて熱心にご審議いただいた結果、全ての議案についてご承認をいただきました。

■総会 15:30～ 愛媛大学共通講義棟A11講義室にて

議題

1. 校友会会則の一部改正(案)について
2. 平成28年度、29年度、30年度の事業報告(案)及び収支決算(案)について
3. 令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
4. 役員の変更(案)について
5. その他

報告事項

- (1) 校友会中国支部設立について
- (2) 愛媛大学ホームカミングデイについて
- (3) その他



■懇親会 17:30～ ANAクラウンプラザホテル松山 4階ガーネットルームにて

総会に引き続き開催した懇親会には、高橋会長ほか65名の会員の皆様が出席し終始和やかな雰囲気の中、会員同士が大いに親睦を深めました。



校友会役員紹介 令和元年度～令和3年度 (令和元年7月27日～)

(敬称略:50音順)

役職	氏名	現職
会長	高橋 祐二	三浦工業㈱取締役会長, 工業会(工学部同窓会)
副会長(常任理事)	武田 壽	工業会(工学部同窓会)
副会長(常任理事)	野村 靖記	法文学部同窓会, 元㈱伊予銀行常務, 【総務企画担当】
常任理事	井上 雅裕	大学院理工学研究科(理)教授
常任理事	大谷 勲	理学部同窓会
常任理事	柿木 一高	工業会(工学部同窓会)会長
常任理事	上甲 功治	総務部総務課長, 【会計担当】
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長
常任理事	立入 哉	教育学部教授
常任理事	西田 和真	法文学部同窓会会長
常任理事	仁科 弘重	理事・副学長, 大学院農学研究科教授
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会会長, 常任理事会議長, 【総務企画・会計担当】
常任理事	羽藤 堅治	大学院農学研究科教授
常任理事	平岡 耕一	大学院理工学研究科(工)教授
常任理事	松本 長彦	法文学部教授, 法文学部同窓会副会長
常任理事	三木 伸司	農学部同窓会(ユウカリ会)会長
常任理事	水口 和壽	退職教員の会副会長, 社会共創学部特命教授
常任理事	村瀬 光香	退職職員会副会長
常任理事	薬師神芳洋	大学院医学系研究科教授, 医学部同窓会会長
常任理事	矢野 結	工業会(工学部同窓会), 【総務企画担当】
常任理事	山本 智規	社会共創学部准教授
常任理事	弓削 俊洋	理事・副学長, 法文学部教授, 【総務企画担当】
理事	青野 宏通	工業会(工学部同窓会), 大学院理工学研究科(工)教授

役職	氏名	現職
理事	阿部 修一	教育学部同窓会
理事	泉 紀江	工学部事務課長
理事	一色 健一	退職職員会理事
理事	太田洋一郎	法文学部後援会会長
理事	岡田 禎之	校友会中国支部支部長, 法文学部同窓会
理事	垣原登志子	農学部同窓会(ユウカリ会), 農学研究科准教授
理事	絹谷 政江	退職教員の会理事
理事	木下 尚樹	農学部後援会会長
理事	後藤 幹郎	校友会近畿支部支部長, 法文学部同窓会
理事	近藤由香里	農学部事務課長
理事	佐藤 浩一	社会共創学部後援会会長
理事	塩出 和久	法文学部事務課長
理事	清水 崇治	校友会首都圏支部支部長, 法文学部同窓会
理事	菅田 顕	教育学部同窓会
理事	鈴木 裕子	理学部事務課長
理事	仙波 文彦	財務部財務企画課長
理事	武田 和義	退職職員会副会長
理事	田鍋 克仁	教育学部事務課長
理事	谷 弘幸	大学院理工学研究科(理)准教授, 理学部同窓会
理事	千葉 昇	理学部同窓会
理事	鳥生 勉哉	法文学部同窓会事務局長
理事	中城 敏	医学部後援会会長
理事	仲田 利通	工学部後援会会長
理事	仲田 秀雄	理学部同窓会会長
理事	中本 剛	理学部後援会会長, 教育学部准教授

役職	氏名	現職
理事	VERGIN-RUTH	国際連携推進機構特命教授
理事	羽藤 直人	大学院医学系研究科教授, 医学部同窓会
理事	濱田 桂子	退職職員会監事
理事	濱邊 弘美	医学部学務課長
理事	林 和男	退職教員の会理事
理事	藤井 晶子	医学部看護学科同窓会
理事	山内 和美	社会共創学部事務課長
理事	山内 孔	教育学部後援会会長
理事	渡部 雅泰	法文学部同窓会副会長
監事	武岡 英隆	南予水産研究センター長・特命教授
監事	山村 滋	退職職員会会長
幹事	阿部 晋	教育学部同窓会
幹事	池内 直之	工業会(工学部同窓会)
幹事	石田也寸志	医学部同窓会
幹事	上谷 浩一	農学部同窓会(ユウカリ会), 大学院農学研究科准教授
幹事	久保 泰敏	法文学部同窓会
幹事	都築 伸二	大学院理工学研究科(工)教授, 工業会(工学部同窓会)
幹事	野本 美佳	医学部看護学科同窓会
幹事	配川 幸一	農学部同窓会(ユウカリ会)
幹事	松下 志郎	教育学部同窓会
幹事	山下 雅司	教育学部同窓会
幹事	渡邊 政富	工業会(工学部同窓会)
顧問	大橋 裕一	愛媛大学長
相談役	森本 惇	前校友会会長
参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長

平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画

区分	事業名	平成30年度事業報告	令和元年度事業計画
会員交流事業	会員ネットワーク事業	校友会の活動状況等を校友会会員に広く情報発信するため、校友会報（第4号）を発刊した。 県内企業等で働く先輩を訪問し、大学生生活や就職活動等について取材した記事「先輩に学ぶ」を校友会ホームページ等に紹介し、会員相互のネットワークの拡大や、在学生の就職活動に対する支援を行った。 首都圏や近畿圏で働き始めた新社会人を、当該地の先輩とともに歓迎する新社会人交流事業を実施した。	校友会の活動状況や大学の近況等を校友会会員に広く情報発信するため、「校友会報」第5号を発刊する。 県内企業等で働く先輩を訪問し、在学時の学生生活や就職活動等について取材した記事を校友会ホームページ等で紹介し、会員間のネットワークの拡大や在学生の就活の一助とする。 首都圏、近畿圏で働き始めた新社会人を、当該地の先輩が応援するとともに校友会ネットワークの拡充を図る。
	支部事業	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行った。	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行う。
	NPO法人校友会人材活用センター活動支援	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」主催による公開講座（3回）及び講演会（1回）を開催した。また、同センターの人材バンクへの登録を推進した。	NPO法人校友会人材活用センターが行う講演会及び公開講座の開催を支援する。
	就職支援事業	東京、大阪で開催される合同企業説明会に参加する就職活動学生に対し、交通費の一部補助を行うとともに、当該地の先輩との情報交換会を開催し就職活動を支援した。 医学部の国家資格取得試験のための資金援助を行う。	東京、大阪で開催される合同企業説明会に参加する就職活動学生に対し、交通費の一部補助を行うとともに、当該地の先輩との情報交換会を開催し就職活動を支援する。 医学部学生の国家資格取得試験のための資金援助を行う。
	修学資金支援貸与援助	新規貸与者なし。また返還業務の円滑な処理を行った。	貸与者に対し返還業務の円滑な処理を行う。
	新入生及び卒業生記念品事業	新入生に対し入学記念品及び「学修サポートフォリオファイル」を配布した。卒業生に対しては卒業記念品「今治タオル製品」を贈るとともに卒業後の情報登録を推進した。	新入生及び卒業生に記念品を贈り校友会活動の広報等に役立てる。
	ホームカミングデイ事業	愛媛大学との共催により第9回ホームカミングデイを開催した。	愛媛大学と共催で、開学70周年記念式典及び第10回ホームカミングデイを実施する。
大学支援事業	学内整備支援事業	学内教育環境整備事業（共通講義棟及び山越運動場等の改修）を支援した。	学内の教育環境整備事業等を支援する。
	学生用図書整備事業	平成30年度愛媛大学図書館資料収集方針に基づき、学生用図書を返書し大学に寄付した。	令和元年度愛媛大学図書館資料収集方針に基づき、学生用図書を返書し大学に寄付する。
	海外派遣制度支援事業	交流協定校への派遣補助及び国際連携推進機構が企画した海外派遣プログラムに参加する学生に対して、渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行った。	交流協定校及び国際連携推進機構が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行う。
	留学生修学資金支援事業	グローバル人材留学生や成績優秀な私費留学生に対する修学資金の援助を行った。また、アイネックスに特別会員として加入し側面からも支援している。	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生へ奨学金を支給する。
	学業奨励金給付事業	愛媛県内に就職した学生に対して「地域定着促進特別奨学金」を給付した。	県内就職率向上と地域の活性化を図ることに繋げるため、愛媛大学が行う「地域定着促進特別奨学金」制度に対して資金援助を行う。
	学生募集活動支援事業	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行った。	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行う。
	課外活動支援事業	愛媛大学の学生団体課外活動評価基準に基づき、平成29年度における課外活動状況を段階別に評価し、これに基づき支援を行った。	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生の課外活動団体の平成30年度における課外活動状況を評価し、課外活動経費を支援する。 全国大会に出場するサークルに交通費等の一部を支援するほか、医学部学生団体連盟に支援経費を補助する。
英語プロフェッショナル養成コース支援事業	学生の高度で実践的な英語運用能力の養成と資格取得のため、カレッジTOEIC等受験に伴う補助を行った。	学生の高度で実践的な英語運用能力の養成と資格取得のためのカレッジTOEIC等受験の補助を行う。	
社会連携	カレンダー共同作成事業	「子規プロジェクト」の協力を得て作成した子規俳句カレンダーを、校友会会員・大学関係教職員・国内外における各種事業の際に配布し、校友会や愛媛大学はもとより併都松山の広報や情報発信に役立てた。	「子規プロジェクト」と共同で俳句カレンダーを作成し、国内外に対して校友会及び愛媛大学の広報に役立てる。
	会議等運営	理事会、常任理事会を開催した。	総会、理事会、常任理事会を開催する。
管理運営等	各種印刷物	校友会の組織や事業活動等を広く周知し理解と協力を得るため、校友会インフォメーションを改訂し新入生全員に配布した。また、本部・支部等で行う各種事業の際にも配布し、校友会の事業活動報告や会員間の情報交換のツールとして役立てた。	校友会の組織や事業活動等を広く周知し理解と協力を得るため、校友会インフォメーション等を発行し新入生等に配布する。また、校友会の本部・支部等が行う各種事業の際にも配布し、校友会の事業活動の報告や会員間の情報交換のツールとして提供する。

平成30年度決算及び令和元年度予算

(収入)

(単位：千円)

科目	30年度決算額	元年度予算額	差引増▲減額	備考
	A	B	B-A	
会員会費	38,160	38,440	280	学部・大学院・退職教職員等入会者
受取利息	9	15	6	預金利息
寄附金	10		▲ 10	
返還金（修学資金支援貸与金）	100	607	507	
雑収入				
当期収入合計	38,279	39,062	783	
前期繰越収支差額	18,374	20,946	2,572	
収入総合計①	56,653	60,008	3,355	

(支出)

(単位：千円)

1事業	(1) 会員交流事業	12,581	14,100	1,519	会員ネットワーク事業、支部設立等事業、人材バンク事業、社会活動支援及び相談事業、ホームカミングデイ支援事業、新入生・卒業生記念品事業
	(2) 大学支援事業	15,289	15,400	111	学生図書の購入、海外派遣制度支援事業、留学生修学資金支援事業、学業奨励金給付事業、学生募集活動支援事業、課外活動支援事業、英語プロフェッショナル養成コース支援事業
	(3) 社会連携事業	851	1,400	549	講演会等開催事業、地域連携支援事業、カレンダー共同作成事業
2管理運営	(1) 管理費等	6,686	7,700	1,014	
	(2) 予備費	300	3,000	2,700	
当期支出合計		35,707	41,600	5,893	
積立金（特別経理へ）		0	10,000	10,000	
支出総合計②		35,707	51,600	15,893	
次期繰越収支差額（①-②）		20,946	8,408	▲ 12,538	

▶ 校友会組織



連携支援

※正会員の資格は、校友会設立時(平成16年3月20日)以前と以後とで異なります。

愛媛大学校友会 会議 総会 理事会 常任理事会 役員 会長(理事) 副会長(理事) 顧問 相談役 参与 理事 監事 幹事 事務 事務局 支部等 国内支部 海外支部	愛媛大学校友会	正会員	校友会設立前	卒業生(同窓会会員)	校友会設立(平成16年3月20日)以前から次の同窓会会員である者 旧姓松山高等学校同窓会, 法文学部同窓会, 教育学部同窓会 理学同窓会, 医学部同窓会, 医学部看護学科同窓会, 工学部同窓会(工業会), 農学部同窓会(ユウカリ会)
				退職教員の会会員 退職職員会会員	校友会設立(平成16年3月20日)以前から 退職教員の会会員, 又は退職職員会会員である者
			校友会設立後	卒業生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者
				後援会会員	各学部後援会会員(準会員が在学中の期間のみ正会員となります) 法文学部後援会, 教育学部後援会, 理学部後援会 医学部後援会, 工学部後援会, 農学部後援会 社会共創学部後援会
		準会員	在学学生	大学教職員(退職者を含む)	校友会設立(平成16年3月20日)以降に入会した者 (退職後も正会員となります)
				在学学生	在学中に校友会に入会した者(卒業後は正会員になります)
				賛助会員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体

▶ 校友会Q & A

■ 校友会の目的は？

愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交と交流を図ることを目的に設立された団体です。現在、会員は12万人を超えています。

■ 校友会の会費は？

校友会設立(平成16年3月20日)以前から各同窓会会員の卒業生は、校友会設立時に校友会の正会員としていただきますので、校友会会費(2万円)を納めていただく必要はありません。
また、校友会設立以降に入学した方は、入学以後に校友会会費(2万円)を納めれば在学中は準会員に、卒業(退学)後は自動的に正会員(終身会員)となります。

■ 各学部同窓会と校友会との違いは？

愛媛大学の同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、各学部同窓会会員、後援会会員、退職・現職教職員及び在学学生(準会員)も含まれる点で大きく異なります。

■ 学生(準会員)へはどんな支援をしているの？

学生へは大きく分けて「入学生支援」「教育支援」「課外活動支援」「学業奨励金給付事業」「海外留学支援」「留学生支援」「就職活動支援」「卒業生支援」等を行っています。
最近では、入学生には「学修ポートフォリオファイル」及び「入学記念品」を、卒業生には卒業記念品として「今治のタオル製品」を贈呈しました。詳しくはP4～P9をご参照ください。

■ 卒業後はどんな活動に参加できるの？

総会(3年に1回開催)にぜひ参加してください。また、会員間の交流事業として「ホームカミングデイ」、「新社会人歓迎会(全員集合in東京、大阪)」、「就活学生との情報交換会」、「講演会」、「公開講座」、「演奏会」等に参加いただけます。

■ 会員情報登録って？

愛媛大学校友会会員であっても住所、メールアドレスなどの情報を校友会に登録していただかないと、校友会から愛媛大学及び校友会の近況やイベント情報をお知らせすることが出来ません。大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくため、ぜひ右頁の「会員情報登録のご案内」により会員情報登録(無料)をお願いします。まだ登録されていない方、卒業等により連絡先を変更された場合にも、変更登録をお願いします。なお、新規に登録された方には校友会から記念品を進呈いたします。

会員情報登録のご案内

※登録は無料です。

- ① WEBからの登録
<http://koyu.ehime-u.jp/entry.html> にアクセスしてご登録ください。
- ② ハガキ，FAXで登録
 ハガキ，または紙に下記の必要事項を記入し，送ってください。



QRコード

●は必須項目です

●氏 名：()
 旧姓 ()

●性 別： 男 女

○生年月日：昭和・平成 年 月 日生 (歳)

●住 所： 〒 -

○電話（携帯）番号 ()

○メールアドレス ()

●区分：
 卒業生 大学教職員 退職教員 退職職員 後援会員

※卒業生のみ下記もご記入をお願いします。

●卒業学部・学科・卒業年
 () 学部
 () 学科
 昭和・平成・令和 年 月卒業・修了

新規登録特典

「校友会オリジナルグッズ」を進呈



トートバッグ
 など

(在庫等の状況により
 変わります)

※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。
 ※なお，ご登録いただきました情報に関しましては，
 愛媛大学校友会が厳重に管理し，校友会からのご
 連絡のみに使用し，他の目的に使用したり，第三
 者に提供することはありません。

〈お問い合わせ・送付先〉

愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
 TEL 089-927-8610 / FAX 089-927-8609

事務局だより

★原稿を募集しています。

校友会では，ホームページや会報に掲載する
 原稿を募集しています。

在学時・在職時の愛媛大学の思い出を写真等
 (当時のキャンパス・愛媛県内の風景など)

ありましたら添えてメール又は郵送で投稿してください。

また，会報に関して，大学関係で掲載して欲しい事，見たい場所等ございましたらお気軽にご連絡ください。

可能な限り取材して掲載したいと思います。校友会事務局は少人数での運営のため，行き届かない点はどうぞご容赦
 いただきますよう，お願いいたします。



校友会館外観



校友会事務局



S43年頃体育館



H16年頃 ハナちゃん



H14年頃 記念講堂

EUAA 愛媛大学校友会
Chime University Alumni Association

発行 2019年10月11日
者 愛媛大学校友会事務局
編 集 愛媛大学校友会報編集委員会

事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609
印刷 セキ株式会社